

# 高知県感染症発生動向調査(週報)

2011年第17,18週〔4月25日～5月1日,5月2日～5月8日〕

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター  
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>  
 E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

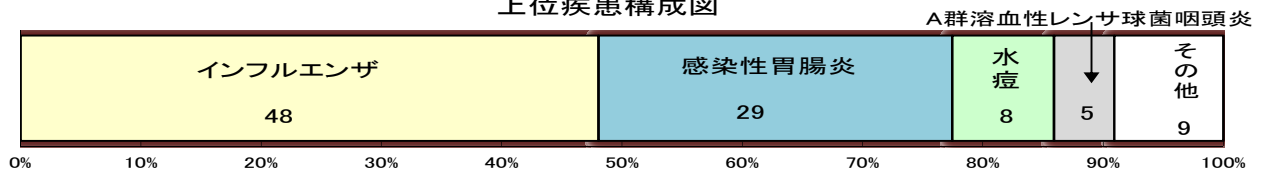
## 県内情報

### ○ 患者情報総評

#### 注意報発令疾患：なし

- 大型連休による医療機関の休診の影響もあり、ほとんどの疾患で報告数が減少している。
- インフルエンザ(高知市：注意報→注意報)**は総数は2週連続で減少し、今週はようやく注意報値を下回った。
- 感染性胃腸炎**は総数は2週連続して減少している。地域毎にみても、全ての地域で注意報値を下回っている。5～6月にかけて小流行のみられる年もあり、今後の推移に注目される。
- 水痘(安芸：警報→警報, 高知市：注意報, 高幡：注意報→注意報)**は上位4疾患のなかで、唯一報告数の増加がみられた。第8週以降注意報値を下回っているが、第16週から増加傾向となり、今週は注意報値に迫る報告数となった。地域毎にみると、安芸では警報値、高幡と高知市では注意報値を超している。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(高幡：注意報)**は前週やや増加し注意報値に迫る報告数となったが、今週は大幅に減少した。6月頃まで流行がみられる年もあり、来週以降の推移に注意が必要である。

上位疾患構成図



地域別感染症注意報・警報発生状況  
第17報 (2011年4月25日～2011年5月1日)



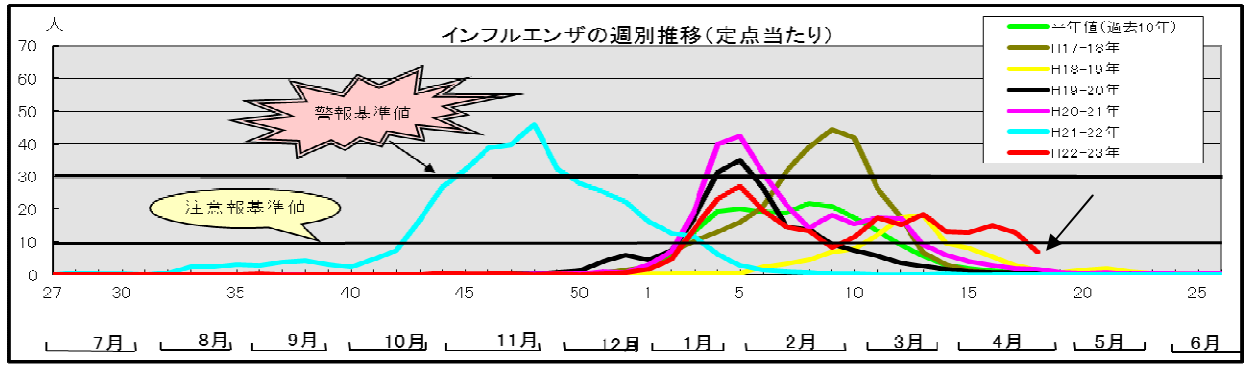
地域別感染症注意報・警報発生状況  
第18報 (2011年5月2日～2011年5月8日)



### インフルエンザ：前週 12.94 今週 6.98 (注意報値：10.00 警報値：30.00)

第17週は安芸と高幡を除く地域で減少し、総数は約86%に減少した。今週は高幡で横ばい、その他の地域で減少し、総数はさらに約55%に減少した。休診の影響も考えられるが、時期的にみても今後も減少傾向が続くと思われる。地域毎にみると、依然高知市では注意報値を超している。年齢別にみると、5～9歳が26.6%、10～14歳が22.4%、1～4歳が13.7%の順で報告が多いが、10歳未満の報告数が大幅に減少している。病原体はAH1pdm 1件、AH3 (A香港型) 3件、B 1件で全ての型が検出された。

手洗い・うがい、咳エチケットを心がけ、今後も引き続き注意が必要である。



**伝染性紅斑：前週 0.43 今週 0.43 (注意報値：1.00 警報値：2.00)**

第16週に報告数が大幅に増加し注目されたが、第17週には減少し、今週は横ばいであった。しかし、これまでの1桁には戻っておらず、今後も引き続き推移を見守りたい。

**検査情報**

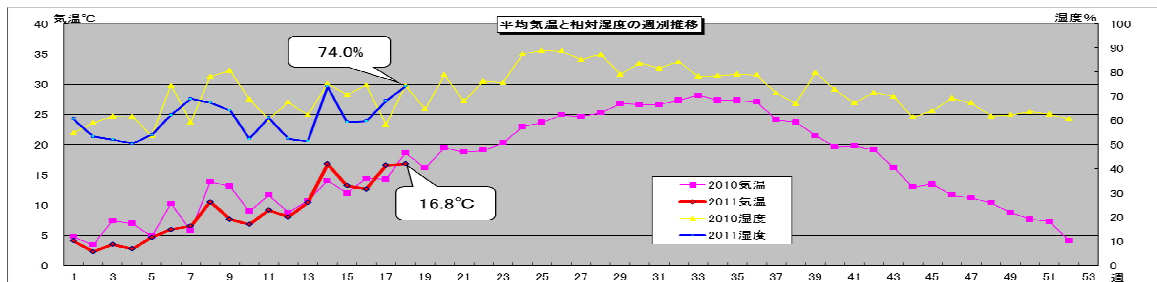
週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
52	手足口病	2歳 男	高幡	Coxsackievirus A6
51	手足口病	不明 男	高知市	Coxsackievirus A6
51	ヘルパンギーナ・手足口病	1歳 女	高知市	Coxsackievirus A6
50	感染性胃腸炎	9か月 男	高幡	Echovirus 25
50	手足口病	6歳 男	高幡	Coxsackievirus A6
50	ヘルパンギーナ	3歳 男	高幡	Coxsackievirus A6
51	ヘルパンギーナ	4歳 女	高幡	Echovirus 25
51	感染性胃腸炎	1歳 男	高知市	Echovirus 25
2	手足口病	1歳 男	高知市	Coxsackievirus A6
3	手足口病	1歳 女	高幡	Coxsackievirus A6
3	手足口病	2歳 女	高知市	Coxsackievirus A6
3	手足口病	1歳 女	高知市	Coxsackievirus A6
17	インフルエンザ	17歳 女	高知市	Influenza virus A H1pdm
17	インフルエンザ	9歳 女	高知市	Influenza virus A H3 NT
17	インフルエンザ	9歳 女	高幡	Influenza virus A H3 NT
17	インフルエンザ	11歳 女	高幡	Influenza virus A H3 NT
17	インフルエンザ	9歳 男	高知市	Influenza virus B NT
18	感染性胃腸炎	6歳 女	高知市	Rotavirus group A NT
17	感染性胃腸炎	5歳 女	中央東	Campylobacter jejuni
17	感染性胃腸炎	4歳 男	中央東	Campylobacter jejuni
17	マイコプラズマ肺炎	7歳 男	高幡	Mycoplasma pneumoniae

○ **全数報告の感染症情報**

2類感染症：結核 4例（60代男）《中央西》（80代男:2例）《幡多》（80代男）《中央東》（今年44例）

5類感染症：破傷風 1例（80代女）《高知市》（今年1例）

○ **高知県の平均気温と湿度（週別）**



○ **定点からの地域ホット情報**

(第17週)

幡多：

《幡多けんみん病院小児科》：インフルエンザの17例中4例はA型陽性，13例はB型陽性

《さたけ小児科》：インフルエンザの25例中1例はA型陽性，21例はB型陽性

マイコプラズマ感染症 1例（2歳女）

《大井田病院小児科》：インフルエンザの4例中3例はB型陽性  
《渭南病院小児科》：インフルエンザの2例はB型陽性，予防接種歴なし  
《こいけクリニック》：インフルエンザの16例中2例はA型陽性，14例はB型陽性  
《幡多けんみん病院内科》：インフルエンザの4例はB型陽性  
《松谷内科》：インフルエンザの1例はA型陽性，予防接種歴なし

#### 高幡：

《もりはた小児科》：インフルエンザの11例は全てB型陽性，予防接種歴ありは1例  
    滲出性扁桃炎（アデノウイルス） 3例（1, 3, 7歳男）  
    感染性胃腸炎はロタウイルスが中心に流行中

《大西病院小児科》：インフルエンザの4例中3例はB型陽性  
《須崎くろしお病院内科》：インフルエンザの10例は全てB型陽性

#### 中央西：

《石黒小児科》：インフルエンザの23例中5例はA型陽性，18例はB型陽性，予防接種歴ありは4例  
《くぼたこどもクリニック》：インフルエンザの11例は全てB型陽性，うち2例は予防接種歴あり  
    感染性胃腸炎の1例（4歳男）は県外から帰省  
《土佐市民病院内科》：インフルエンザの21例中1例はA型陽性，20例はB型陽性  
《高北病院内科》：インフルエンザの3例は全てB型陽性

#### 高知市：

《細木病院小児科》：インフルエンザの20例は全てB型陽性  
《矢野小児科》：インフルエンザの37例中2例は予防接種歴あり  
《福井小児科内科》：インフルエンザの29例中3例はA型陽性，26例はB型陽性，予防接種歴ありは3例  
《けら小児科・アレルギー科》：インフルエンザの100例は全てB型陽性，予防接種歴ありは33例  
    アデノウイルス陽性 4例（0～1歳男女）  
《ふないキッズクリニック》：インフルエンザの15例中1例は予防接種歴あり  
《高知医療センター小児科》：インフルエンザの3例中1例はA型陽性，2例はB型陽性，予防接種歴ありは2例  
《細木病院内科》：インフルエンザの4例は全てB型陽性  
《高知赤十字病院内科》：インフルエンザの7例中3例はB型陽性，予防接種歴ありは2例，なしは5例  
《近森病院内科》：インフルエンザの18例中15例はB型陽性，うち予防接種歴ありは1例，なしは1例  
《高知医療センター内科》：インフルエンザの8例中2例はA型陽性，6例はB型陽性，予防接種歴なし

#### 中央東：

《高知大学医学部付属病院小児科》：感染性胃腸炎の1例はロタウイルス腸炎  
    インフルエンザの2例はB型陽性  
《吉本小児科皮膚科》：インフルエンザの8例は全てB型陽性  
《野市中央病院小児科》：インフルエンザの2例はB型陽性，予防接種歴ありは1例，なしは1例  
《早明浦病院小児科》：インフルエンザの31例は全てB型陽性  
    感染性胃腸炎の3例（1～3歳男女）はロタウイルス感染症  
《いはら内科小児科》：インフルエンザの22例は全てB型陽性  
《野市中央病院内科》：インフルエンザの13例は全てB型陽性  
《嶺北中央病院内科》：インフルエンザの14例中2例は予防接種歴あり

#### 安芸：

《県立安芸病院小児科》：インフルエンザの14例中1例はB型陽性，予防接種歴なし  
《田野病院小児科》：インフルエンザの5例は全てB型陽性，予防接種歴ありは3例  
《県立安芸病院内科》：インフルエンザの4例は全てB型陽性，予防接種歴なし

#### (第18週)

#### 幡多：

《幡多けんみん病院小児科》：インフルエンザの7例中2例はA型陽性，5例はB型陽性  
    アデノウイルス陽性 1例（8歳男）  
《さたけ小児科》：インフルエンザの10例中9例はB型陽性 アデノウイルス感染症 1例（1歳男）  
    ヘルペス性歯肉口内炎 4例（2歳男女，5歳女）  
《大井田病院小児科》：インフルエンザの4例中3例はB型陽性  
《渭南病院小児科》：インフルエンザの2例はB型陽性，予防接種歴なし  
《こいけクリニック》：インフルエンザの3例はB型陽性  
《幡多けんみん病院内科》：インフルエンザの2例はB型陽性  
《松谷内科》：インフルエンザの1例はB型陽性，予防接種歴なし

#### 高幡：

《もりはた小児科》：インフルエンザの11例は全てB型陽性，予防接種歴なし  
    滲出性扁桃炎（アデノウイルス） 3例（1, 3歳）  
    (17週) カンピロバクター腸炎 1例（2歳男）

《大西病院小児科》：インフルエンザの2例中1例はA型陽性，1例はB型陽性  
《須崎くろしお病院内科》：インフルエンザの9例はB型陽性  
《くぼかわ病院内科》：インフルエンザの4例中3例はB型陽性

#### 中央西：

《石黒小児科》：インフルエンザの5例中1例はA型陽性，4例はB型陽性 水痘の1例（5歳男）は予防接種済み  
《くぼたこどもクリニック》：インフルエンザの8例（うち1例は安芸市）は全てB型陽性，うち1例は予防接種歴あり  
《日高クリニック》：インフルエンザの8例は全てB型陽性  
《土佐市民病院内科》：インフルエンザの10例は全てB型陽性

《高北病院内科》：インフルエンザの3例中1例はA型陽性、2例はB型陽性

**高知市：**

《福井小児科内科》：インフルエンザの4例はB型陽性

《けら小児科・アレルギー科》：インフルエンザの37例中5例はA型陽性、32例はB型陽性、予防接種歴ありは8例  
アデノウイルス陽性 3例（1,4歳男、3歳女）

《ふないキッズクリニック》：インフルエンザの5例はB型陽性

《高知医療センター小児科》：インフルエンザの1例はB型陽性、予防接種歴なし

《細木病院内科》：インフルエンザの1例はB型陽性

《高知赤十字病院内科》：インフルエンザの11例中7例はB型陽性、予防接種歴ありは4例、なしは3例

《近森病院内科》：インフルエンザの22例中2例はA型陽性、17例はB型陽性、うち予防接種歴ありは2例、  
なしは13例

《高知医療センター内科》：インフルエンザの1例はB型陽性、予防接種歴なし

**中央東：**

《高知大学医学部付属病院小児科》：感染性胃腸炎の2例はロタウイルス腸炎  
インフルエンザの2例はB型陽性

《吉本小児科皮膚科》：インフルエンザの8例は全てB型陽性

《あけぼの小児クリニック》：インフルエンザの14例は全てB型陽性

《野市中央病院小児科》：インフルエンザの1例はB型陽性、予防接種歴なし  
ヘルペス性歯肉口内炎 1例（1歳女）

《早明浦病院小児科》：インフルエンザの4例は全てB型陽性

《野市中央病院内科》：インフルエンザの3例はB型陽性

《嶺北中央病院内科》：インフルエンザの10例中3例は予防接種歴あり

**安芸：**

《県立安芸病院小児科》：インフルエンザの9例中6例はB型陽性、予防接種歴なし

《田野病院小児科》：インフルエンザの2例はB型陽性 アデノウイルス咽頭扁桃炎 2例（1歳女）

《県立安芸病院内科》：インフルエンザの4例は全てB型陽性、予防接種歴なし

**全国情報第15週（4/11～4/17）（<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>）**

2類感染症：結核309例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症11例（有症者6例、うちHUSなし）

4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎4例、デング熱2例、マラリア2例、ライム病1例、レジオネラ症6例

5類感染症：アメーバ赤痢13例、ウイルス性肝炎（B型）1例、急性脳炎1例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、後天性免疫不全症候群9例（AIDS 4例、無症候4例、その他1例）、ジアルジア症2例、梅毒3例、風しん8例

報告遅れ：細菌性赤痢3例、パラチフス1例、エキノコックス症1例、マラリア1例、急性脳炎2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん2例

◆麻しん2011年第1～15週（2011年4月20日現在）

わが国における麻しんの流行状況の把握は、1981（昭和56年）年7月に厚生省実施の事業により定点把握調査として開始された。1999年4月からは感染症法制定に伴い、法のもとで定点把握調査が続けられていた。定期予防接種によって麻しんの患者数は着実に減少し、2006年には過去最低の定点当たり累積報告数（516例）、推計受診患者数5,000人となっていたが、翌2007年に10代、20代を中心とする流行が起こり、多数の学校が休校措置を行うなどの社会的問題が生じた。世界保健機関では、日本を含む西太平洋地域において2012年までに麻しんを排除するという目標を掲げており、わが国においてもこの目標に向け、2007年12月28日に「麻しんに関する特定感染症予防指針」が制定された。この指針にもとづき、予防接種については、追加接種の実施による2回接種の徹底が図られるとともに、発生状況の把握については、より正確な把握のため、2008年1月1日から全数把握調査に変更された。

2011年第1～15週（2011年1月3日～2011年4月17日診断のもの、2011年4月20日現在）に報告された麻しん累積報告数は128例であった。これは2010年の同期間（第1～15週）の累積報告数142例に比較すると約10%の減少ではあるが、第15週の報告数は27例となり、明らかな流行といえるピークを示さなかった2009年の週平均報告数13.8例、2010年の同8.8例と比較して、大幅な増加といえる。

都道府県別では、第15週までに27都道府県から報告されており、東京都38例、広島県19例、神奈川県11例、愛知県9例、千葉県7例、青森県5例、埼玉県5例の順であり、一方、報告例がない県は20府県であった。人口100万人当たり報告数で見ると、最も高い値を示しているのは広島県6.64、次いで青森県3.63、東京都2.95、山梨県2.31、群馬県1.49であった。病型別累積報告数では、臨床診断例34例（26.6%）、検査診断例72例（56.3%）、修飾麻しん（検査診断例）22例（17.2%）と、検査診断例が73.5%を占めている。これは2008年の臨床診断例が全11,012例のうち62.1%を占めていた状況と比較すると、わずか3年の間にほぼ逆転した。

年齢群別累積報告数では、20歳未満では2～4歳16例（12.5%）、10～14歳15例（11.7%）、1歳14例（10.9%）、5～9歳13例（10.2%）、15～19歳11例（8.6%）、0歳5例（3.9%）の順であった。20歳以上の年齢群では20～29歳25例（19.5%）、30～39歳19例（14.8%）であった。年齢別では、1歳14例、11歳8例、3歳/4歳6例、0歳/24歳5例の順であった。

定期接種対象者はもちろんのこと、麻しんの罹患歴がない、または不明な方で麻しん予防接種が未接種または1回のみ接種の方、予防接種歴が不明の方は、定期接種対象外であっても積極的に麻しんの予防接種を受けていただきたい。

第17週 平成23年4月25日(月)～平成23年5月1日(日)

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(16週)	高知県(17週未累計) H23/1/3～H23/5/1
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ	23	136	296	64	26	76	621 ( 12.94)	719 ( 14.98)	36,993 ( 7.56)	11,657 ( 242.85)
小児科	咽頭結膜熱			2			2	4 ( 0.13)	2 ( 0.07)	1,140 ( 0.36)	123 ( 4.10)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	10	27	2	3	15	58 ( 1.93)	51 ( 1.70)	7,279 ( 2.33)	813 ( 27.10)
	感染性胃腸炎	17	47	117	20	15	28	244 ( 8.13)	316 ( 10.53)	29,096 ( 9.30)	4,851 ( 161.70)
	水痘	9	2	18	4	6	12	51 ( 1.70)	36 ( 1.20)	4,173 ( 1.33)	878 ( 29.27)
	手足口病		6	10		1		17 ( 0.57)	10 ( 0.33)	636 ( 0.20)	140 ( 4.67)
	伝染性紅斑		3	10				13 ( 0.43)	25 ( 0.83)	2,117 ( 0.68)	107 ( 3.57)
	突発性発疹	1	2	7	2	1	1	14 ( 0.47)	20 ( 0.67)	2,077 ( 0.66)	208 ( 6.93)
	百日咳								1 ( 0.03)	88 ( 0.03)	8 ( 0.27)
	ヘルパンギーナ		2	2		1		5 ( 0.17)	2 ( 0.07)	151 ( 0.05)	37 ( 1.23)
	流行性耳下腺炎	1	1	1			3	6 ( 0.20)	7 ( 0.23)	2,438 ( 0.78)	109 ( 3.63)
	RSウイルス感染症								1 ( 0.03)	552 ( 0.18)	554 ( 18.47)
眼科	急性出血性結膜炎									10 ( 0.01)	( 0.00)
	流行性角結膜炎			2				2 ( 0.67)		322 ( 0.48)	16 ( 5.33)
基幹	細菌性髄膜炎									8 ( 0.02)	1 ( 0.14)
	無菌性髄膜炎									11 ( 0.02)	8 ( 1.14)
	マイコプラズマ肺炎			2				2 ( 0.29)	1 ( 0.14)	163 ( 0.36)	31 ( 4.43)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									8 ( 0.02)	2 ( 0.29)
計 (小児科定点当たり人数)		52 ( 20.25)	209 ( 22.79)	494 ( 36.14)	92 ( 22.13)	53 ( 20.00)	137 ( 21.70)	1,037 ( 26.67)			
前週 (小児科定点当たり人数)		49 ( 20.25)	217 ( 23.68)	545 ( 39.97)	115 ( 28.73)	61 ( 24.25)	204 ( 31.05)		1,191 ( 30.68)	87,262	19,543 ( 503.79)

定点当たり

第17週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(16週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ	5.75	12.36	18.50	12.80	6.50	9.50	12.94	14.98	7.56
小児科	咽頭結膜熱			0.18			0.40	0.13	0.07	0.36
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	1.43	2.45	0.67	1.50	3.00	1.93	1.70	2.33
	感染性胃腸炎	8.50	6.71	10.64	6.67	7.50	5.60	8.13	10.53	9.30
	水痘	4.50	0.29	1.64	1.33	3.00	2.40	1.70	1.20	1.33
	手足口病		0.86	0.91		0.50		0.57	0.33	0.20
	伝染性紅斑		0.43	0.91				0.43	0.83	0.68
	突発性発疹	0.50	0.29	0.64	0.67	0.50	0.20	0.47	0.67	0.66
	百日咳								0.03	0.03
	ヘルパンギーナ		0.29	0.18		0.50		0.17	0.07	0.05
	流行性耳下腺炎	0.50	0.14	0.09			0.60	0.20	0.23	0.78
	RSウイルス感染症								0.03	0.18
眼科	急性出血性結膜炎									0.01
	流行性角結膜炎			2.00				0.67		0.48
基幹	細菌性髄膜炎									0.02
	無菌性髄膜炎									0.02
	マイコプラズマ肺炎			0.40				0.29	0.14	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.02
計 (小児科定点当たり人数)		20.25	22.79	36.14	22.13	20.00	21.70	26.67		
前週 (小児科定点当たり人数)		20.25	23.68	39.97	28.73	24.25	31.05		30.68	

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(17週)	高知県(18週未累計) H23/1/3～H23/5/8	
			中央東	高知市	中央西							
内科・小児科	インフルエンザ	15	69	163	34	26	28	335 ( 6.98)	621 ( 12.94)	32,966 ( 6.75)	11,992 ( 249.83)	
小児科	咽頭結膜熱			1			2	3 ( 0.10)	4 ( 0.13)	1,222 ( 0.39)	126 ( 4.20)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	2	16	3	4	9	35 ( 1.17)	58 ( 1.93)	6,819 ( 2.19)	848 ( 28.27)	
	感染性胃腸炎	19	44	95	22	10	15	205 ( 6.83)	244 ( 8.13)	26,486 ( 8.49)	5,056 ( 168.53)	
	水痘	9	8	28	4	4	6	59 ( 1.97)	51 ( 1.70)	4,751 ( 1.52)	937 ( 31.23)	
	手足口病		4	10			1	15 ( 0.50)	17 ( 0.57)	715 ( 0.23)	155 ( 5.17)	
	伝染性紅斑			10	1		2	13 ( 0.43)	13 ( 0.43)	2,239 ( 0.72)	120 ( 4.00)	
	突発性発疹	1	6	4	2	1	1	15 ( 0.50)	14 ( 0.47)	1,893 ( 0.61)	223 ( 7.43)	
	百日咳									72 ( 0.02)	8 ( 0.27)	
	ヘルパンギーナ	1	2	2	2			7 ( 0.23)	5 ( 0.17)	179 ( 0.06)	44 ( 1.47)	
	流行性耳下腺炎		1	2				5	8 ( 0.27)	6 ( 0.20)	2,516 ( 0.81)	117 ( 3.90)
	RSウイルス感染症									505 ( 0.16)	554 ( 18.47)	
	眼科	急性出血性結膜炎									17 ( 0.03)	( 0.00)
		流行性角結膜炎								2 ( 0.67)	310 ( 0.46)	16 ( 5.33)
基幹	細菌性髄膜炎									14 ( 0.03)	1 ( 0.14)	
	無菌性髄膜炎			1				1 ( 0.14)		9 ( 0.02)	9 ( 1.29)	
	マイコプラズマ肺炎			1				1 ( 0.14)	2 ( 0.29)	184 ( 0.41)	32 ( 4.57)	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									8 ( 0.02)	2 ( 0.29)	
計 (小児科定点当たり人数)		46 ( 19.25)	136 ( 15.84)	333 ( 25.46)	68 ( 18.13)	46 ( 16.50)	68 ( 11.50)	697 ( 18.98)				
前週 (小児科定点当たり人数)		52 ( 20.25)	209 ( 22.79)	494 ( 36.14)	92 ( 22.13)	53 ( 20.00)	137 ( 21.70)		1,037 ( 26.67)	80,905	20,240 ( 522.77)	

定点当たり

第18週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(17週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ	3.75	6.27	10.19	6.80	6.50	3.50	6.98	12.94	6.75
小児科	咽頭結膜熱			0.09			0.40	0.10	0.13	0.39
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.29	1.45	1.00	2.00	1.80	1.17	1.93	2.19
	感染性胃腸炎	9.50	6.29	8.64	7.33	5.00	3.00	6.83	8.13	8.49
	水痘	4.50	1.14	2.55	1.33	2.00	1.20	1.97	1.70	1.52
	手足口病		0.57	0.91			0.50	0.50	0.57	0.23
	伝染性紅斑			0.91	0.33		0.40	0.43	0.43	0.72
	突発性発疹	0.50	0.86	0.36	0.67	0.50	0.20	0.50	0.47	0.61
	百日咳									0.02
	ヘルパンギーナ	0.50	0.29	0.18	0.67			0.23	0.17	0.06
	流行性耳下腺炎		0.14	0.18			1.00	0.27	0.20	0.81
	RSウイルス感染症									0.16
眼科	急性出血性結膜炎									0.03
	流行性角結膜炎								0.67	0.46
基幹	細菌性髄膜炎									0.03
	無菌性髄膜炎			0.20				0.14		0.02
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.14	0.29	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.02
計 (小児科定点当たり人数)		19.25	15.84	25.46	18.13	16.50	11.50	18.98		
前週 (小児科定点当たり人数)		20.25	22.79	36.14	22.13	20.00	21.70		26.67	

## 2011年週報推移(定点当たり)

